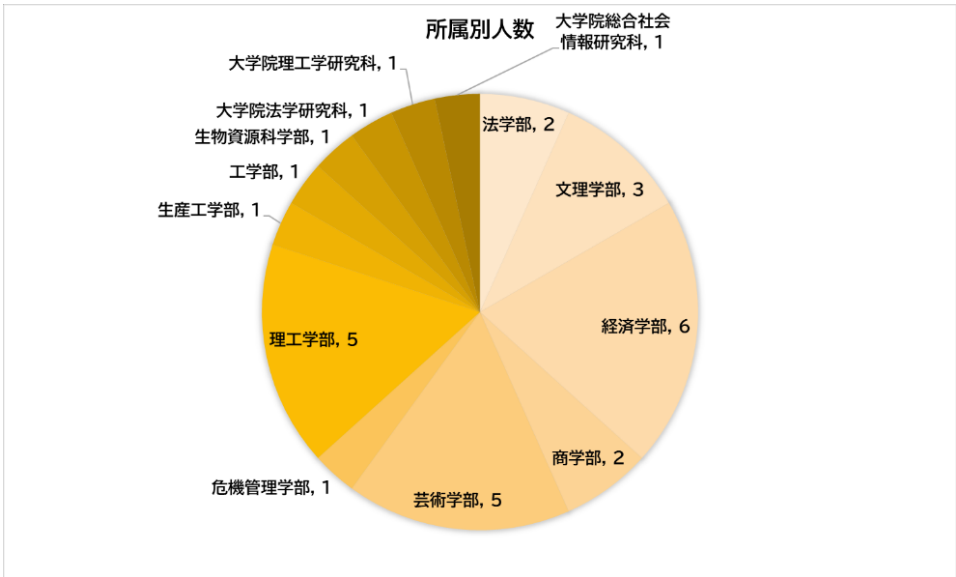
令和６年度（第１回）日本大学本部主催オーストラリア・ニューカッスル グローバル研修成果報告書

研修目的	①　グローバル社会における課題や多文化共生社会の現状・様子を直に協定校ニューカッスル大学教員の講義及び研修期間中の実地から学び，また，その根幹となる言語（英語）学習により，自らの考え・意見を伝える力及び異なる背景・意見をもつ人々への理解・尊重する精神を養う。 ②　海外の学生と共に学ぶ学習や交流プログラム等を通して，異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図る。 ③　様々な学部等から参加する学生と共に，本学初の海外拠点があるニューカッスルやオーストラリアを知ることを通して，多様な価値を受容し，自己の立場・役割を認識する力を伸ばす。
研修場所	①　日本大学ニューカッスルキャンパス 教育棟 ②　ニューカッスル大学及びニューカッスル大学 PALS 学習支援センター（Pathways and Academic Learning Support Centre）
所 在 地	オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市
研修期間	当　初　令和６年８月１９日（月）出国 ９月　７日（土）帰国（２１日間） 変更後　令和６年８月２０日（火）出国 ９月　７日（土）帰国（２０日間） ※当初搭乗予定航空機の機体整備不良による運航見合わせのため。
研修内容	①　講義（６時間） ※ニューカッスル大学教員による本研修のために特別に用意された内容でオーストラリアにおけるグローバルな課題及び多文化共生社会に関するテーマを扱う。また講義受講に当たり，事前と事後学習を実施する。 (1) Global Issues facing Australian youth (2) Indigenous Australia ②　実地研修（６時間） (1) ニューカッスル市内の地理，歴史，交通，環境等を歩いて学ぶ研修 (2) 講義（Indigenous Australia)に関連して，ニューカッスル大学シティーキャンパス Watt Space Student Gallery への訪問及び意見交換を行う研修 (3) ニューカッスルキャンパスオープニングセレモニーでの現地関係者及び原住民（アボリジニ）との交流 ③ 語学研修（４８時間） (1) 現地で留学生向けに開講されている英語クラス（English Language Bridge Program(略称 ELBP)）に参加し，能力別クラスで英語の４技能（Speaking, Listening, Writing, Reading）を学ぶ。多様な国々からの留学生と勉学を共にすることにより，語学知識の修得にとどまらず，異文化や多様性を意識したコミュニケーション能力を有する人材育成を行う。 (2) 本学に用意されたニューカッスル大学の学生との交流プログラム(Student-led Cultural Exchange Activities)
単位認定	有　※ただし学生本人の単位認定希望状況や所属学部等により異なる。

補助等	日本大学校友会から参加者全員に対し，渡航費の寄付を受給した。校友会には，令和６年１２月３日に研修生代表による帰国報告を行った。
参加人数	３０名　内訳以下

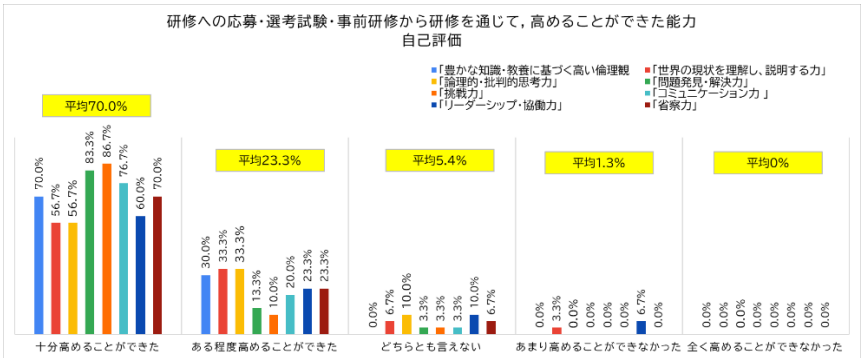


成果

① 高めることができた能力について（自己評価アンケート結果）

日本大学の教育理念である「自主創造」の３つの構成要素にある８つの能力に関して，本研修による学生自身の自己評価は以下のとおりであった。

項目		十分高めることができた	ある程度高めることができた	どちらとも言えない	あまり高めることができなかった	全く高めることができなかった
自ら学ぶ	「豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自ら学ぶ	「世界の現状を理解し，説明する力」	56.7%	33.3%	6.7%	3.3%	0.0%
自ら考える	「論理的・批判的思考力」	56.7%	33.3%	10.0%	0.0%	0.0%
自ら考える	「問題発見・解決力」	83.3%	13.3%	3.3%	0.0%	0.0%
自ら道をひらく	「挑戦力」	86.7%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%
自ら道をひらく	「コミュニケーション力」	76.7%	20.0%	3.3%	0.0%	0.0%
自ら道をひらく	「リーダーシップ・協働力」	60.0%	23.3%	10.0%	6.7%	0.0%
自ら道をひらく	「省察力」	70.0%	23.3%	6.7%	0.0%	0.0%



② 参加者各自の課題について

- より高い会話スキルや単語力を身につけたい。
- リスニング
- 英語学習は続ける必要があると感じた。また，日本は他の国より英語学習が遅れていると改めて実感した。
- 語学学習の課題をさらに明確化することができた。学習面の相談までできたことはよかった。
- 日本の文化や習慣をよく知らないなと思った。
  授業でよく自国の文化や習慣を他国と比べるディスカッションをすることが多く，自国の説明をする時に無知だから困った。
- もっと単語の勉強などをできると良かったと感じました。
- 現地の学生と交流することによって今までの自分の視野の狭さに気付かされた為，もう少し広い視野を持ち就職活動を進めていきたいと思いました。
- 文法　ボキャブラリー
- 今後の課題としては，身につけた英語を維持し，向上させることである。そのため，語学の資格試験を受けるなどして行きたい。
- 環境に慣れるまでの時間が長過ぎて学習面に悪影響が出ていたと思うので，英語学習という目的をしっかり持って生活するべきだった。
- 価値観を広がるという時に，自分の意見や見方に固執するのではなく，相手の価値観を聞き受け入れることが大切だと思った。
- リスニング力がないと思った。
- 伝えたいことが頭に浮かんでいてもパッと英語が出てこないことが課題で，普段から英語をアウトプットすることに慣れるために反復練習が必要だと思いました。
- 意外と話していることが聞き取れているようで出来ていなかったのでそこを強化したいと思いました。
- 課題はやはり英語の実力であると思う。咄嗟に言いたい単語が本当に出てこない。英文学科で他学部生に比べ英語に触れているのに。改善方法は，英語を話す機会をもっと日本で増やすこと。発音を正しく学ぶこと。
- 目標として設定した英語のコミュニケーション能力の向上や異文化理解は，実践を通じてかなり達成できましたが，体調管理と時間配分の重要性を痛感しました。今後は，スケジュールに休息時間を組み込み，体調の変化に敏感に対応するよう心掛けます。
- 英語を話すことに抵抗がなくなった。また，日本語クラブの学生も含め，語学学習への意欲が高い人から強く刺激を受けた。
- 英語の勉強意欲がとても高まりました。また，日本と違う点を沢山発見できて，海外に住みたい！海外に携わる仕事につきたいと心から思うことができました。世界は広いなぁと感じることができ，日本の良いところももちろんありますが，日本にいるだけでは狭いなと感じることができました。しっかり英語を勉強して，世界で活躍できる人になりたいと思いました。
- 何か掴め始めた辺りで帰国となってしまったので，帰国した後も英語に触れる機会を増やすのが課題である
- より積極的に会話に入れたらよかった。
- よりライティングや基礎から学ぶ必要があると思った。スピーキングは経験や挑戦する数だと思った。
- 英語をもっと学びたいと思いました。実際に帰国後から英語の勉強を始めており，自分の中での意識が変わったと思っています。

- 英語の語彙が足りないなと感じた。あとは，積極性をもっと養っていきたいと思った。
- 英語の力が足りていないことがわかった。
- 自分はとにかく苦手なことにチャレンジすることを目標にしていったので，英語のスキルが大いに上がった訳ではないですが，そこのボーダーはクリア出来たと思ってます。
- 英語を話す環境に居ることが非常に重要だと気づきました。今後も家族や今回出来た友達と日常で英会話する様な習慣をつけたり，日大の日本語教室のボランティアや今回できたオーストラリアの友達と積極的に会話するなど自分で英語を話す環境を作っていこうと思いました。また，将来住む国は本当に日本で良いのかを考える為にも参加したのですが，海外に住む場合ワーホリでは職を探すのが難しい為，日本で海外にも支店がある企業に就職してそこから海外出張で仕事をして住む方が良いんじゃないかと思いました。
- もっと自ら積極的に話しかける力。
- Writing の能力が足りないと感じる場面があり，以降の勉強の際にはスマホや PC でタイピングするだけでなく紙に書くということを実践しようと感じました

③ 本研修での得られたもの，気付き，学びについて

- ニューカッスルは自然が素晴らしいです。丘を登って日の入りを見たり，朝は朝日を見にビーチへ行ったり。日本とは比べられことができないくらい綺麗で尚且つ静かな場所でとてもリラックスできる場所でした。住んでいる人達もとても優しく，こんな街に住みたいなと思えるくらい良い街でした。スマホに縛られず，自然や空気に身を委ねるのがどれだけ健康なのかについて学べました。
- 先生との出会い
- オーストラリアの生活環境が理解できた。特に家族優先の生活スタイル，閉店時間など,少子高齢化社会の日本で見習うべきところも多いと感じました。
- 色々な学部生との交流から異国地での共同生活で得られた，コミュニケーションの大切や協調性の重要性に気付かされた。
- 多様な考え方を知ることができた。
  現地の人とたくさん関わる機会があり，良い経験になった。
- 日本とは違うビーチやバー，先住民を大切にする文化や生活，価値観などを学べたことや海外の人の英語の早さや使い方などを学べたこと。
- この研修では様々な学部の学生が集まっていたため普段は交流のできない学部の学生と交流ができ，楽しかったです。
- 日大生との絆，現地で学んでいる日本語クラブとの交流。治安の良さから，周辺を自由に散策できたのはニューカッスルならではだと思った。現地の人も優しく，気さくに話変えてくれた。
- 現地の方の優しさがあったため，勇気をだして英語を使うことが出来た。
- ３０人という大人数の研修だからこそみんなと生活していく協調性が身についた。
- オーストラリアのフレンドリーな方々と心強い研修生の仲間が居たからこそ，自分から話したり行動したりすることができた。
- 自然や文化を大切にすることを学びました。
- 日本大学ニューカッスルキャンパスの近くにあった教会の，日曜日のミサに参加することができ，そこにいた人々の優しさに触れて，ニューカッスルの人々の暖かさと優しさを感じることができました。教会にいた人だけでなく，ニューカッスルの人々の優しさのおかげで，英語を頑張ろうと思えたので，

オーストラリアの人々や海外に対する良い印象を持つことができたのは，ニューカッスルだからこそ得られたことだと思います。

- この研修だったからこそ得られたことは 3 週間という短くて限られた期間であったからこそ毎日が挑戦で，チャレンジ精神が常にあったからこそ，色々な人に自分から話しかける事ができそこから仲良くなることも出来たと思います。
- この研修に選ばれた人から本当に学びを得た。自分の生き方について考えることができた。行動力や，将来を見据えている感じと，自分の意見，考え，思ってることをうまく言語化して伝えられているところなど，人間像を学べた。
- ニューカッスルでは，シドニーとは異なり，地元の人々と深く触れ合い，彼らの実際の生活を見ることができました。コロナ禍で修学旅行や宿泊行事が中止されたため，今回の共同生活がとても貴重な思い出となりました。また，普段は異なるキャンパスや学部の人と関わる機会がないため，一緒に過ごす時間が楽しく，価値観や考え方を交換することができました。さらに，研修に参加する人たちの行動力や人生観について話すことで，非常に多くの学びが得られました。
- 日本語クラブの学生が「言語を勉強している中で悩むことは当たり前」という話をしてくれたことは，私自身にとって貴重で大切な言葉であったと感じている。
- たくさんの現地の人々と話すことができ，日英クラブの人とたくさん話すことができるなど,とても貴重な経験ができました。ありがとうございました！
- 得た中で 1 番大きかった方は他の価値観の理解である。
  さまざまな学年分野の違った仲間と共に時間を過ごす事で楽しみながら違う価値観などを学ぶことができた。
  また海外の方との交流において，さまざまな人種が集まるのでそれも良い機会であった。
- 他学部の人と初めてこんなに関わってかつ現地で英語の授業も受けて，出来る出来ないに問わずコミュニケーションを測ることの大切さを実感した。
- 自分の価値観がより刺激された。
- 自然の豊かさに驚かされた。
- ニューカッスルは人が本当に優しくて，休日や放課後に街に出ると特にその人の優しさを感じました。休日に教会にいき日曜のミサに参加させてもらったのですが，その際に日本大学の学生のことを紹介してくれて，地元の人や教会の人などたくさんの人と話す機会がありました。その時にたどたどしい英語で話す私にしっかりと最後まで話を聞いてくれて，優しい言葉をかけてくれました。シドニーなどもやはり新鮮でしたが，落ち着いた環境で多くの自然や人と触れ合えるニューカッスルで学ぶ魅力は非常に大きいと思いました。
- この研修自体が，一人一人にとってなにかしらのきっかけになっているなと気づいた。また，語学による選考基準がないのでよりきっかけや，プレッシャーなく参加することができた。
- 日本以外にもこんなに住みやすい環境があることを知った。
- 何より，ニューカッスルの現地の方々の人柄に助けられたことが多々ありました。だから，ニューカッスルだったからこそできた，救われたことがあるのでそこでの立地には非常に満足しています。また，プログラムと少し別になりますが，大自然での生活は気持ちがいいし，朝，夕のオーシャンビューには毎度感動をしました。

- ニューカッスルの現地に行って，授業外の生活の中でオーストラリアの人がどんな働き方をしていて，日本で生きるのとどう生き方が違うのかを知る事が出来た。特に，自分がどう感じたかという，感覚でものを考える人にとっては現地に行くのが分かりやすいと思いました。
- この研修に参加していなかったら世界がこんなに広いこと，様々な人がいて様々な価値観をもってること，それをお互い理解し合うことの大切さを実感することが出来た。
- 様々なお店の営業時間やその他活動時間が短いことから文化や法律の違いを体験することができました

研修の様子

<table>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Global Issues の様子</td><td>Indigenous Australia の様子</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>UoN Watt Space Student Gallery 訪問</td><td>アボリジニによる歓迎舞踊</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>語学授業の様子</td><td>交流プログラム授業の様子</td></tr>
</table>



本学ニューカッスルキャンパスカフェテリア



本学ニューカッスルキャンパスでの生活の様子





本学ニューカッスルキャンパスで開催されたニューカッスル大学学生との交流会の様子



令和６年度（第１回）オーストラリア・ニューカッスルグローバル研修参加者

以　　上